

平成20年12月定例会



平成20年第6回定例会は、12月3日から22日までの会期20日間で開かれました。表彰条例等の一部改正案や、総額約23億5000万円の一般会計補正予算案など48議案が提出され、意見書案1件とともに、いずれも原案どおり可決しました。また、請願5件のうち1件は不採択、残る4件は継続審査となりました。この定例会では、各会派の議員など7人が議案や市政全般について質問しました。その概要は、次のとおりです。

可決した意見書

議員提案による次の意見書を可決し、福島市議会の意思として、その実現に向け、国会および関係機関に送付しました。

詳しい内容は、議会のホームページでご覧いただけます。

◆インターネット地図情報提供サービスにおける地域安全に関する意見書

新春のごあいさつ



議長
蔵本 久

皆さまには、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

福島市は現在、4年制大学の開学準備や方向性が決まった福山駅前広場整備、東桜町地区市街地再開発事業の支援など50万都市にふさわしい都市基盤整備に取り組んでいるところです。

特に、世界同時不況の中にあつて福島市は、昨年暮れに緊急経済・雇用対策本部を立ち上げ、非正規労働者の雇用や住宅対策、中小企業者の融資制度の拡充など、市民生活の安心につながる施策を緊急的・重点的に講じているところです。

市議会としては、今後も積極的に議会活動を展開し、市民の皆さまの願いを市政に反映してまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆さまのご多幸を祈念いたしましてごあいさついたします。

質問および答弁(要旨)

本市を取り巻く経済・雇用状況は (明政会)

問

非正規労働者を中心にリストラが行われるなど深刻な雇用不安と景気減速が進行し、年末にかけて企業倒産の増加が懸念されるが、①現状と本市の融資制度の運用状況は。②雇用安定のための施策は。

答

①国は10月31日から、中小企業の資金繰りを支援する「緊急保証制度」を創設しており、認定事務を市が担っている。11月末ま

◆関連質問

- ・経済対策について (公明党)
- ・新年度に向けた景気・経済対策は (市民連合)
- ・景気低迷が本市財政に与える影響は (新政クラブ)

派遣社員の「雇い止め」について (日本共産党)

問

今、世界的金融経済危機の影響が広がり、市民の雇用と暮らしを守る対策が、経済と政治の焦眉の課題となっている。シャープ福山工場の派遣労働者

でに284件を認定し、付随する相談件数も796件となっている。また、本市の融資制度の運用状況は、新規融資が10月末で603件、融資金額は29億4000万円余、対前年同月比それぞれ126.4%、126.3%である。とりわけ20年6月に創設した「経営環境変化対応特別資金」は、融資51件、融資金額は3億9000万円余の活用となっている。②若年者などの求職者や、不安定就労者を対象にした個別職業相談や各種就労支援セミナーなどを実施している。